

かごしま

# あいら

市議会だより

No.33 12月定例会

平成31年1月31日発行

新時代へ	2
待望のクーラー	4
激論 場外舟券売場	7
めざす将来の始良市	8
20人が市政を問う	10
税金の使い方をチェック	20
あなたの声を市政に反映	22

始良市商工会青年部加治木支部OB会による七草がゆの振る舞い  
(加治木ふれあい物産館)



# 新時代へ

12月定例会は、11月27日から12月18日までの22日間の会期で開かれました。

定例会初日、閉会中審査となっていた平成29年度決算の審査結果が報告され、賛成多数で認定しました。

これまで多くの議員から一般質問等で強い要請が続いていた小中学校のクーラー設置に係る補正予算が提案され、議決しました。

最終本会議では「場外舟券売場」の建設をめぐる陳情等に、市議会始まって以来最多となる傍聴者で議場傍聴席が満席となりました。

市の発展の指針となる始良市第2次総合計画の基本構想も承認され、“オールあいら”で新時代に向けて力強い一歩を踏み出しました。

オールあいらで  
踏み出す一歩！



●12月議会（第4回定例会）

【議案】	議案	26件
陳情	4件	
※1件は9月から継続審査		
発議	1件	

全ての議案と採決結果は、始良市ホームページをご覧ください。



議長 森川 和美

# 新年のごあいさつ

## 謹賀新年

市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、集中豪雨・地震・台風・酷暑と、日本各地で多くの災害が発生しました。

被災された皆さまに心からお見舞い申しあげ、一日も早い復旧と復興をお祈りします。

始良市政も間もなく9年が経過し、私ども市議会も日進月歩、時代の変化と市民のニーズにお応えすべく3つの会派が結成され、さらに1会派が手続き中です。

それぞれの会派が、切磋琢磨しながら議員の資質と提案力を向上させ、議会改革に繋がることを強く期待するものです。

私自身も議長という立場を忘れず公平・公正の議会運営に努め、始良市の発展のために全力を尽くすことを年頭にあたりお誓い申し上げます。

本年は、皇位継承・改元など大きな変化を迎えます。

新しい年が、市民の皆さまお一人おひとりにとりまして素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



幼・小・中学校の教室にクーラー設置へ

市議会議長会への要望や長年にわたり多くの議員から強い要請が続いていた幼稚園・小学校・中学校へのクーラー設置が決定しました。  
平成31年8月頃までの設置に向けて、準備が進むこととなります。  
(詳細は4ページ)

初の委員会発議

初の常任委員会発議となる「主要農作物の種子の安定供給・品質確保に関する意見書」が産業建設常任委員会より提出されました。  
今後従来からの議員発議だけでなく、常任委員会や会派などからも発議が出てくると、さらに議会での議論が活発になると予想されます。

市民からの要望

中山間地域(山田校区) 振興に関する陳情書  
● 山田地区公民館の移転・新築  
● 山田地区に位置する公営住宅(山田団地)の増設  
● 「主要農産物種子法」の復活を政府に求める意見書に関する陳情書  
● 加治木に「場外舟券売り場」を建設することに反対する陳情書  
(詳細は5〜7ページ)

最高傍聴者数を記録

第4回定例会最終日(12月18日)は、始良市議会が始まって以来、一日当たりの最多傍聴者数94名を記録しました。  
傍聴席に入れなかった約50名の方は議員控室のモニターでの視聴となりました。  
また、インターネット中継や中継録画もアクセスが多かったようです。  
市民の関心の高い陳情4件の採決が行われたためだと思えますが、歴史的な一日となりました。

# 待望！ 小・中学校、幼稚園の教室 クーラー設置経費 15億1253万円



賛成／20名 反対／3名

県内一暮らしやすいまち  
「始良市」をめざして  
身近な事業をピックアップしました。

1日でも早い設置のため

11月7日に成立しました、国の平成30年度補正予算による「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、小・中学校については普通教室、特別教室、職員室等に、また幼稚園については普通教室にそれぞれ空調機を整備するための設計委託料並びに工事請負費を計上したものです。

**Q** 空調機の設置は各教室に合わせた形になるのか。  
**A** 空調機の設置にあたっては、それぞれの教室

の容積に合った機種を選定しますが、大半は、天吊型空調機の設置になる予定です。

**Q** 全国一斉の設置になると考えるが、空調機の数、確保や施工業者の確保など、設置作業に支障はないのか。

**A** 平成30年7月に官房長官から、来年度中の一斉導入の談話が出されたことから、各メーカーは量産体制に入っていることは見込まれます。

市としては、工期が非常に短いことを考慮し、分割して設計・工事発注を行う予定としており、8月までに工事完了できるように、事業者をお願い

してまいります。

**Q** 体育館へのクーラー設置はしないのか。大災害時に備えて体育館にもクーラーを設置すべきではないか。

**A** 今回の交付金の対象には含まれていません。現段階での実施となれば、学校施設環境改善交付金がありますが、その補助率は10%程度で、大半は自主財源になります。

体育館への空調機は1校当たり5千万円程度であり、設置は困難と考えております。

また、大規模災害避難所として、体育館に空調機を設置する予定は、現時点ではありません。



▲快適な教室で学習可能に

## 林道の改修工事

850万円

二次災害を防ぐため

林道長尾山線の法面被災箇所での改修工事請負費です。

平成29年6月の豪雨により、被災したが、県単林道整備事業の追加があり実施が可能となったため計上したものです。工事請負費のうち、340万円は県補助です。

**Q** 盛り土の土砂の単価と、その費用はいくらかと、その費用を含めて300万円です。シラスの価格は1㎡が1080円

です。

また、砂の量は700㎡です。

【議員問討議】

・シラス700㎡が必要であること、搬入距離(18・5km)が長いことが確認できた。

・被災前は、約30度勾配で施工されており、土量を抑える工法もあるが、工作物が多くなり、工事費が増加することを確認した。

・二次災害の恐れがあるので、今回の工法を選んだことを確認した。



▲被災地を現地視察

# 「主要農作物種子法」の復活を政府に求める意見書に関する陳情書

**不採択**  
賛成 8名  
反対 15名

陳情者 山下 晶子

## 審査の経過

この陳情は、9月議会に提出され、継続審査になっていました。

「主要農作物種子法」は昭和27年に制定され、稲、麦、大豆の品種開発と安定供給に貢献してきたが、平成30年4月に廃止された。国や都道府県の責任を定めた法律がなくなり、食糧安全保障の前提となる種子が国内で十分確保できるの不安が広まっている。稲、麦、大豆はどれも遺伝子組み換えの対象作物であり、消費者の不安が増大している。日本の農業と食の安全を守るために「主要農作物種子法」の復活を求める意見書を政府に提出してもらいたい。

● 県では、「種子法」の趣旨を踏襲した「主要農作物種子生産・普及促進基本要綱」を制定し、今後も種子確保は維持される。  
● 遺伝子組み換え農作物（種子を含む）は他の法律で規制されており「種子法」との関連性はない。などを確認し、同陳情は不採択との結論に達しました。

**採択**  
賛成 23名  
反対 0名

# 中山間地域（山田校区）振興に関する陳情書

陳情者 下名区長 瀬戸口 勉

上名区長 小倉 秀光

大山区長 下靄 満伸

## 山田地区に位置する公営住宅（山田団地）の増設

### 陳情の趣旨

第1次総合計画の重点プロジェクト「若者定住促進住宅の建設」により山田団地30戸が建設され、小学校児童数の増加など地域の活性化に大きな影響をもたらしている。

当初は、60戸の建設予定で敷地を確保造成している。第2次総合計画でも「若者定住促進住宅の建設」を中山間地域振興施策として位置付けて、残り30戸の建設を実現するよう陳情する。

### 審査の経過

定住促進施策は、第2次総合計画にも示される予定であり、中山間地域の全体のバランスを考えたが、山田団地の建設については可能な限り早い時期に取り組みべきとの合意形成が図られました。

### 陳情の趣旨

山田地区の活動の拠点として多目的集會施設を山田団地隣接地に移転新築し、現在の公民館跡地は、市民に親しまれる歴史公園として整備することを第2次総合計画に位置付けて欲しい。

### 審査の経過

多目的集會施設の新築を起点とした様々な地域振興策は、第2次総合計画に反映・包含されていることを確認し、地域自ら描かれたまちづくりプランによる振興策は、後押しすべきとの共通認識を得ました。

## 山田地区公民館の移転・新築



▲山田団地の増設で更なる人口増加を

## 指定管理者

### 公の施設の 指定管理者の指定

指定管理者制度とは：  
公の施設の管理を公共的団体（外部団体）及び、民間事業者やNPO法人などに委ね、サービス向上と経費節減を図るもので、指定には議会の議決が必要となります。

以下の4施設の指定管理者の指定と、1施設の指定期間の変更を議決しました。

**文化会館（加音ホール）**  
公益財団法人始良市文化振興公社

**蒲生観光交流センター及び別館**

始良市観光交流センター・別館共同事業体

**働く女性の家**

株式会社総合人材センター

### 蒲生ふるさと交流館

特定非営利活動法人La b 蒲生郷

指定期間は、いずれの施設も2019年4月1日から2024年3月31日までの5年間です。

### 龍門滝温泉

来年度から大規模改修工事が始まります。そのため工事期間中、施設を管理する必要がないので指定期間を3年短縮します。

## 条例

### 人工芝グラウンドや 附帯施設の使用料等 を定める公園条例改 正

市総合運動公園に整備中の人工芝グラウンド及び照明施設や、陸上競技場の更衣室の使用料等を設定しました。

「公の施設の使用料に関する基本方針」に基づき、「受益者負担の原則」及び「公平性・公正性の確保」の観点から以下のように料金表が示され議決しました。

### ●人工芝グラウンド

一般 1500円  
小中高生 750円  
照明施設 1300円  
(1時間当たり)

### ●陸上競技場付帯施設

更衣室 130円  
会議室 130円  
放送室 130円  
(1室1時間当たり)



▲建設中の子ども広場と人工芝グラウンド

### 主な質疑応答

Q 維持管理に係る必要経費を示せ。

A 維持管理費は、人工芝・天然芝グラウンドの両方合わせて、年間1380万円と想定している。ネーミング代などの広告料の収入見込みは約640万円が必要経費は約740万円になる。

### 岩下陽太郎

陳情者が訴える主に3点の影響や疑問を現地調査（志布志市）も含め審査した。施設設置を推進はしないが、施設設置による生活環境や青少年育成に悪影響を及ぼす可能性は低いと判断し、陳情に賛同するには至らなかった。

### 松元 卓也

年間の売上の0.8%1千万円が環境整備費として本市に支払われる。法人市民税を1千万円以上取める企業は少ない。これからの防犯、交通安全、教育など子どもにかかる財源を増やしていきたい。現地調査した結果、周辺地域での風紀の乱れは感じられない。

### 堂森 忠夫

弥勒自治会と合意済みで、施設は法的に問題ないし差別的排除は経済が停滞する。

行き場所のない人達にはストレス発散場所、犯罪の抑止力になる。高齢者は頭の体操になり認知症予防に繋がり、医療費削減に貢献するので陳情に反対する。

### 萩原 哲郎

志布志市では、青少年とのトラブルや問題点も今までに報告は無く、運営対策協議会を設置し、対処していた。本市へのメリットは20名程度の雇用と環境整備費・固定資産税が見込める。地元弥勒自治会も賛成している。

### 和田 里志

マイナスイメージだけが誇張され、ボートピアが社会の基本に反するような主張は、偏見すぎる。健全に運営している企業もあり、非難されるものではない。教育は自分の弱い心に勝つ「克己心」、その方法を教えるべきである。

NO



反対  
討論



# 加治木に「場外舟券売り場」を建設することに反対する陳情書

陳情者／加治屋 昭弘・樫山 紀夫（4511名の署名を添付 12月10日受付）



**陳情の趣旨：**「教育と文化の街」の中心地に、ギャンブル性の高い場外舟券売り場ができることに、私たちは不安を感じます。交通量の増加による住民生活への影響、そして小中学校、高校の通学路でもあり児童、青少年にも影響を及ぼします。始良市や始良市議会が、暮らしやすい街づくりと健全な青少年育成の観点から、舟券売り場の設置に同意することのないよう、陳情します。

## 総務常任委員会：陳情者との主な質疑応答

- Q 交通量の多さを懸念されているが、今までパチンコ店があった時の交通量はどうかだったのか。
  - A 交通量が大きく変わったという現状はない。
  - Q 青少年育成に懸念があるということだが、どのような影響が考えられるか。
  - A 負けた腹いせに地域の環境を乱すような状況が生まれてくる。その状況を見た子どもたちは大きなショックを受けるだろうと思われる。
- 陳情者との質疑を終え、オラレ志布志（志布志市の場外舟券売り場）へ現地調査。

## 総務常任委員会：主な議員間討議

- イメージが違った。時代は変化していると感じた。
  - 周辺地域の風紀の乱れはなかった。
  - 始良市と志布志市とは経緯の違いがある。
  - 特別委員会を設置して時間をかけて議論すべきではないか。
- 討論の後、採決に入り賛成少数で不採択。

場外舟券売り場設置には3つの条件があるのよ。

- ①自治会等の同意。
  - ②議会が反対議決していないこと。
  - ③市長の同意。
- 自治会、議会は終了し、あとは市長の同意のみなのよ。



## 最終本会議：委員長報告の後の主な質疑

- Q 教育委員会やPTA関係に聞いたのか。弥勒自治会の話聞いたのか。先の一般質問で執行部が確認している案件があると言っていたが確認したのか。
- A 教育委員会、PTA関係と話し合いはしていない。弥勒自治会の話は聞いていない。執行部は呼ばず委員だけで協議した。

YES



賛成討論

**本村 良治**  
パチンコと賭博の違いについて述べる。パチンコは風俗営業法が適用され、賭博・ギャンブルには刑法が適用される。そして、パチンコは自分の腕前が勝負の結果になる。賭博は勝負の結果が偶然性によって左右される。

**有川 洋美**  
依存しやすいギャンブル場が始良市にできることに不安を感じる。

建設される場所は、子どもたちの通学路で、目に触れる場所である。認知症のある高齢者が行く恐れもある。志布志に（現地調査に）行ってきたが、ダーティーなイメージそのもので、女性が行きたいと思う場所ではなかった。

**堀 広子**  
ギャンブルの恐ろしさは、普通の人を麻痺させることだ。

4553名の署名を重く受け止め、近隣自治会やPTAへの説明会、子どもたちの意見を聞き、公示価格等十分な審議を行うべきである。賭けた収益金で、市の環境整備を行うのは情けない。

**上村 親**  
弥勒自治会が同意したことだが、始良市全体のことを考えると市民の総意とは言えない。反対の署名も4千5百人を超えている。また、第2次総合計画には「次代を担う子どもたちの夢と希望を大きくむ高等教育機関の創設」を指すとなっている。総合的に考えると始良市にとってこの施設設置は必要でない。

討論終了後、和田議員より「無記名投票」の動議が出されたが賛成少数で否決。電子表決で採決を行い不採択となった。



# 第2次総合計画の基本構想が決まる

めざす将来の始良市

総合計画は、本市がめ

ざす将来の姿と、それを  
実現していくために総合  
的に取り組むべき施策を  
中長期的、戦略的な視点  
を持って示し、市民の福  
祉の向上と始良市発展の  
指針となるものです。

総合計画は、基本構想、  
基本計画、実施計画によ  
って構成されます。

基本構想は、まちづく  
りの基本理念や目標人口  
を掲げ、それを実現する  
ための枠組を示すもので  
す。

計画期間は2019年  
度から2026年度まで  
の8年間です。

基本計画は、構想に掲  
げた政策を具体的に示し、  
実現する段取りや、計画  
を着実に推進していくた  
めの考え方を示すもので、  
計画期間は、前・後期の  
各4か年です。

実施計画は、基本計画  
で示された施策の体系に  
基づいて、事務事業の内  
容について、毎年見直し  
を図りながら3か年の計  
画を策定して実行します。

【主な質疑】

可決  
賛成／20名  
反対／3名

Q 目標人口を8万人と  
した理由と根拠を示せ。

A 衰退モデルではなく、  
発展思考で今後の人口増  
対策事業施策も勘案した  
実現可能な目標としまし  
た。

Q 2020年の中間発  
表、報告はあるか。

A 目標指数を掲げ、進  
捗状況を見ながら機会  
を捉えて報告したい。

Q 市長が2次総合計画  
の中で、やり遂げたい事  
項は何か。

A やり遂げたい事項と  
しては、重点プロジェクト  
に掲げているものがそ  
の項目であります。



▲あいら市の未来を背負ってくれる子ども達

## 基本構想

### 【基本理念】

『可能性全開！ 夢と希望をはぐくむまちづくり  
～ひとりひとりが主役 住みよい県央都市 あいら～』

### 【施策の大綱】

1. 協働・自治～市民と共にまちを創る
2. 子育て～安心して子どもを生ま育てる
3. 教育・文化～健やかで豊かな心が育つ
4. 健康・福祉～誰もが安心していきいきと生きる
5. 産業・交流～まちの魅力が輝き活力にあふれる
6. 安全・安心～快適な暮らしを守る

### 【人口の将来展望】

始良市の人口8万人を達成することを目標とする

## 基本計画

### 施策の分野別基本計画の6項目の実施

### 【重点プロジェクト】

- 始良市総合戦略の推進
- 高等教育機関の創設
- 駅を中心としたまちづくり
- 子育て世代の支援
- 生涯健康のまちづくり
- 複合新庁舎の整備



# 委員会 レポート

## for Benchmarking

3 常任委員会では昨秋、それぞれのテーマに則り先進地視察を行いました。その学びを今後の市政に活かしてまいります。

### 1. 総務常任委員会 庁舎建設(桶川市／日立市)

庁舎建設をテーマに埼玉県桶川市と茨城県日立市を訪ねました。

桶川市は議会と執行部が意見交換し、議会の多くの意見を取り入れていました。

また、天井や壁床の仕上げを部分的に行わず、建設費を抑えていました。

日立市は震災を経験。特に防災に力を入れていました。

常時設置の災害対策本部室や国内

唯一の市天気相談所などを設置。全戸に防災ラジオを配布し、防災無線のテスト放送として天気予報を毎日流していました。

両市とも防災に配慮し、低コストで庁舎建設していました。また、市民の機運醸成も時間をかけ行っていました。



▲低コストを実現した天井・壁床

### 2. 文教厚生常任委員会 障がい者青年学級(町田市)／男女共同参画(久喜市)

昨年11月、東京都町田市に「障がい者青年学級」の取組を学びに行きました。

町田市では福祉分野ではなく、社会教育の一環として位置付けているのが特徴です。

このため、学級名やプログラムも自分たちで決める自主性に力点が置かれています。

現在は待機問題もあり、卒業生の自主的なグループ活動も市として支

援しています。

昨年春、本市にも「障がい者青年学級」設置を求める陳情があり、先進地研修を組んだことから、研修後は市内の福祉団体のみなさんに報告と意見交換の場を設けました。

併せて、埼玉県久喜市では「男女共同参画」について学んで参りました。



▲福祉団体との懇談会の様子

### 3. 産業建設常任委員会 鳥獣被害対策(篠山市)／水道事業包括的民間委託

イノシシ、シカ、サルの食害は全国的な課題です。昨秋、サルを中心とした防除先進地域の兵庫県篠山市を訪ねました。

市は県の「ニホンザル管理計画」と整合を取りながら、計画的に捕獲していました。

具体的にはICTを活用した捕獲装置の導入や放任果樹の除去、サル用複合電気柵の設置、集落一体となった追い払い活動、サル群れ位置情

報メール配信、電動エアガン貸与、追い払い犬育成などを実行し成果をあげていました。

次に丹波市の「水道事業包括的民間委託」で事務部門の委託事例を聞き取りしてきました。

技術者を減らすのは困難で、維持管理までの民営化は難しいということでした。



▲サルの群れの位置情報をメールで連絡 (イメージ図)

## 公有財産

# 有効活用と処分

市長/積極的な売却または貸付



和田 里志  
市政クラブ始輝



和田 公有財産の管理と有効活用及び処分についての考え方を問う。  
市長 公共施設再配置基本計画の中で、施設の用途ごとに方向性が示されている。  
市が継続して保有し利用するか売却や貸付を進めるか検討・判断し、利活用が見込めない財産については、積極的な売却

または貸付を行っていく。



▲使われていない重富中学校教頭住宅

### 立地適正化計画と開発行為との関連

市長/4月以降に公表

和田 総合計画や立地適正化計画の策定状況と民間業者による開発行為等との関連をどのようにしていくか。

市長 立地適正化計画の素案については、策定協議会を開催しとりまとめるところである。

今後パブリックコメントを実施し、都市計画審議会からの答申を受け、4月以降に公表したい。

開発行為との関連については、居住誘導区域外における一定規模以上の開発等は、届出の対象となり、重要事項説明の義務が生ずる。

# を問う

# 一般質問

## 水道事業

### 施設の更新

市長/積極的に推進



湯川 逸郎



湯川 水道事業の施設の老朽化による更新を具体的に示せ。

また、耐震基準を満たしていない施設の解消と水道事業の民営化をどう考えるか。

市長 平成31年度から毎年、管路延長の1%を老朽管更新の目標と定め、

積極的に推進していく。

耐震化については、当該計画に盛り込み、優先順位を定め、計画的に進めていきたい。

水道事業の民営化は、考えていない。

### 生活習慣病の早期発見

市長/特定健診受診率向上の取組みを図る

湯川 本市の国民健康保険の医療費の実態と、生活習慣病の早期発見や重



▲生活の源、水道事業

### その他の質問

症化予防や、受診率の向上を図る対策を問う。  
市長 本市の昨年の総医療費は、70億6345万円、生活習慣病に起因する総医療費は、40億3461万円、全体の57.1%を占めている。  
生活習慣病の早期発見に対しては、かかりつけ医からの受診勧奨・脱漏健診などの特定健診受診率の向上を図る。  
また重症化予防に対しては、特定保健指導を実施し、健康的な生活ができるよう支援している。

## 交通安全

### ロードミラーの設置

市長／設置基準で判断



田口 幸一



**田口** ロードミラーの設置についての条件を示せ。  
**市長** 本市では市道において見通しが悪い箇所、自治会やスクールゾーン対策委員会等からの要望に基づき、ロードミラーを設置している。

- ① 信号機がなく、見通しが悪く、交通事故発生のおそれがある
- ② 見通しの悪い、屈曲部にある
- ③ ミラー設置により、改善と安全確保が図られる
- ④ 生活道路や通学路で、公共性が高い
- ⑤ 設置のための用地が確保される

等が、設置の判断基準となる。

### 国産の杉材活用

市長／おおいに利用

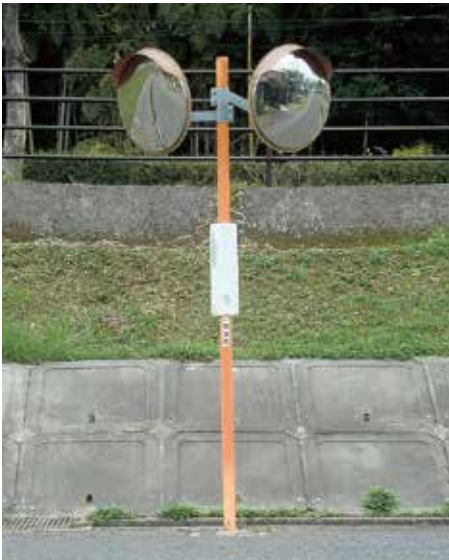
**田口** 植林された杉などが利用期を迎え、市内でも伐採が行われているが、国産の杉材活用を問う。  
**市長** 構造用の製材品・集成材・合板などの住宅用建築資材や、木質バイオマス発電の燃料等に、おおいに利用されている。国産材は、杉や檜が主であり、機械等での製材・加工がしやすいのが

特徴である。

また、建材としても日本の風土に合っており、間伐は20年から30年ほどで、伐採して利用されている。

### その他質問

- 耕作放棄地
- 側溝蓋
- 雑草の除去



▲設置基準で判断されるロードミラー

# 市政

# 20人がー

## 雨水排水対策

### イオンタウン周辺

市長／管理や改修の検討



国生 卓



**国生** イオンタウン周辺の排水路に雑草が繁茂し害虫が発生している。  
 また、側溝蓋が無く道路は通学路にもなっており、通行するのに危ない。市として道路等の整備の取組みを問う。  
**市長** 維持管理方法や側溝改修について、区域全体の雨水排水計画において検討する。

**国生** 思川用水路（五社神社前）の分水路の排水を改修してあるが、大雨時は、県道への冠水が見られる。  
 市としての排水対策の計画を問う。

### 林道整備

市長／適切な維持管理に努める

**国生** 今後の林道の整備計画や整備方針を問う。  
**市長** 未舗装の林道の状況を把握するための点検一覧表で、適切な維持管理に努める。



▲雑草が繁茂している排水溝

## 業務改善

### 部活動の練習時間

教育長／出場大会数の精選



本村 良治



**本村** ガイドラインに規定してある部活動の練習時間が守られていないために、参加できる大会数を制限してはどうか。

**教育長** 昨年改正された「県児童生徒対外運動競技の基準」で年2回以内と定められている。練習時間を減らすためには校長会等で出場大会数を精選して参加することを指導している。

### 校区公民館建設

市長／優先して検討

**本村** 始良ニュータウンのさらなる活性化をめざして、校区公民館を早急に建設してはどうか。  
**市長** まちづくりの拠点には校区コミュニティである。

協議会には地域の人々が集い各種協議が繰り返される場が必要なことは認識している。  
市としては西始良校区も含めて市民が集う施設のない校区コミュニティは施設等の確保について優先して検討していく。



▲業務改善が取り組まれている教育現場

## 重富公園

### 市有地を駐車場に

市長／今後調査・検討



萩原 哲郎



**萩原** 重富公園の駐車場に、埋め戻しされていない市有地がある。

ここを埋戻し、駐車場として活用できないか。  
**市長** 現在の駐車場の奥には、およそ370㎡の市有地がある。埋め立てに伴う雨水排水処理の検討や、隣接の土地所有者の同意などが必要であることから、今後、調

査・検討していく。

### ボートレースチケット ショップ設置計画

市長／協議・検討

**萩原** 株式会社博友から加治木町<sup>みづく</sup>弥勒のパチンコ店跡地に、ボートレースチケットショップ設置計画の申請書が、始良市に提出された。

設置について市長の考えを問う。

**市長** 「ボートレースチケットショップ設置計画に係る同意方の申請」が

提出されており、現在、関係各部署において検討に入っている。

不明な点などについて、株式会社博友に照会しており、その回答内容等も踏まえ、協議・検討していきたい。

### その他の質問

- 市内のトイレの清掃と修繕
- 鹿児島マラソンの始良市民枠



▲駐車場不足の重富公園（イケダパン工場西側）

## 人材育成

### 職員の農業体験研修

市長／研究する考え



堂森 忠夫



堂森 団塊世代が後期高齢者に近づき、各分野では人材不足だ。

職員の農業体験研修等の人材育成に努められたいか。

市長 研修は市民や地域とのふれ合い、体験・協働により経験値は深まると考えており、公務員としての意識、市役所の組織力、市の活力向上につ



▲夏祭りに参加したベトナム人技能実習生

ながる意義深いものと考えている。

職員研修としては、一部の作業体験を通じた産業理解や地域貢献のプログラムとしての可能性について研究する考えである。

### 友好盟約締結

市長／検討する

堂森 ベトナム人労働者の受け入れ強化を図るために、生活改善や安全安心のために研修会やベトナムの関連市と友好盟約締結を図れないか。

市長 96人のベトナム人が、電子部品や食品製造業、建設業などの業種に従事されている。

地域活動に積極的に参加され評判が良い。友好盟約締結等についても検討する。

## 手話通訳

### 聴覚障がい者への支援

市長／本庁に手話通訳者1名常駐



有川 洋美



有川 平成29年4月から手話通訳者が始良市役所本庁に常駐することになったが現状を問う。

何名常駐し、正規雇用なのか。

市長 手話通訳者が常駐することにより、聴覚障がい者などによる各種申請手続きや相談の件数も増加している。

本庁に1名常駐し、一般職非常勤職である。

有川 聴覚障害のある方々への支援体制について説明せよ。

市長 毎年、手話奉仕員の要請を行うための入門・基礎講座を行っている。

### 土砂災害・洪水対策

市長／6か所で事業実施中

有川 土砂災害警戒区域、土石流危険渓流箇所等について、現状、取組みを問う。

市長 県が指定する土砂災害危険箇所には、急傾斜地崩壊危険箇所・土石

流危険渓流・地すべり危険箇所がある。本市では、133か所が指定、整備率31・6%、本年度は6か所で事業実施中である。

有川 栞山池の事業に関する申請の進捗状況を問う。

市長 栞山池は平成5年の豪雨による土砂の堆積で満杯である。

土砂の浚渫を土地改良施設維持管理適正化事業を活用した計画として進めている。

2021年度の事業実施予定となっている。



▲2021年度の事業が待たれる栞山池

# 国道10号

## 渋滞の緩和・解消

市長／協議を進める



東馬場 弘  
市政クラブ始輝



**東馬場** 国道10号は、主に朝日町から岩原交差点において渋滞がひどく、混雑時の車両速度は指定速度50キロメートルに対し15・8キロメートルとの調査結果が出ている。このことにより、通勤・経済流通にも大きな影響がある。慢性的な渋滞の緩和・解消対策を問う。



▲国道10号の渋滞緩和を望む

**市長** 国道10号付近の交通量調査で、※混雑度はおよそ2.0となっており、この数値からも、通勤や経済活動に多大な影響があると認識している。

来年度から、単人道路の4車線化の工事が着工される予定である。この状況を見据えながら、今後も霧島市と渋滞解消に向けた協議を進めていく。

### その他の質問 ○教育行政について

※混雑度とは？  
道路の容量に対する交通量の比を示したものであり、混雑度が1・0を超えた場合は、交通量が道路容量を超えており、通勤や経済活動に多大な影響がある。

**岩下** 本市が実施している子どもの貧困対策として、どのような施策や事業があるのか。  
また国や県などの事業の活用や広報、共同事業などがあれば示せ。  
**市長** 本市は、国や県の施策を踏まえながら、ひとり親家庭や生活困窮世帯等への経済支援、小学校の就学援助、就労支援等に取り組んでいる。  
その他、生活困窮者自立支援法に基づく、子どもの学習支援事業を社会福祉協議会へ委託し、延べ462人の小中学生が利用している。  
これらの事業は、教育・福祉等の関係部署が連携し、国や県の補助事



岩下陽太郎  
市政クラブ始輝



# 子ども支援

## 子どもの貧困対策

市長／国や県の施策を踏まえ取組む

業を活用して実施しており、広報紙や対象者への通知、保育園だより、学校だよりなどで周知を図っているところである。

市としては、今後とも、関係機関、地域の方々のネットワークの充実を図り、子どもが安心して育成される環境づくりに取り組んでいく。

### その他の質問 ○鳥獣被害対策について



▲子ども学習支援事業「マナビバ」 ※写真は加工してあります。

## 有害鳥獣対策

### サルの生息調査

市長／早急な検討を指示



湯之原 一郎  
市政クラブ始興



**湯之原** サルの生息状況を把握することが様々な対策を講ずる基礎になる。調査方法を検討し、実施する考えはないか。

**市長** サルに発信機を装着し、その生息状況、行動範囲や行動パターンなどを把握し、日常的に情報提供できれば、サルに対する防護や地域ぐるみによる対策が可能になると考える。

関係部署に、先進事例を参考にしながら、早急に検討するように指示している。

### ドローンの導入

市長／寄贈を受け、訓練中

**湯之原** 小型無人機ドローンの活用が、各地の自治体に広まっている。

災害時の活用等を研究し、導入を検討できないか。

**市長** 消防防災の分野でのドローンの導入・活用を検討していたところ、消防本部へ寄附採納申請があり、ドローン2台を寄贈していただいた。

消防職員が訓練中であり、行方不明者の捜索や災害調査等で活用できないか調査・検討していく。



▲あちこちに出没するサルの群れ

## 経済対策

### プレミアム商品券の発行

市長／市商工会と連携



竹下 日出志  
公明党始興市議員



**竹下** 平成31年10月の消費税率10%への引き上げから一定期間使用できるプレミアム付き商品券を発行する考えはないか。

**市長** 国では、経済対策の一環として、プレミアム付き商品券の発行を検討している。

本市では、今後の国の動向を注目し、市商工会とも連携してプレミアム



▲子育てに積極的なイクメンを推進

付き商品券の発行を検討する。

**イクメン・イクボス宣言**  
市長／施策として研究する

**竹下** 子育てに積極的な男性（イクメン）と、部下のワーク・ライフ・バランスに配慮する上司（イクボス）を増やすことが必要と考えるが、本市はイクメンとイクボス宣言をどのように考えるか。

**市長** 現在、2019年度から5年間の第2次男

女共同参画基本計画の策定を進めている。

具体的な施策として、イクメン・イクボス宣言を研究する。

### その他の質問

- 健康チケットあいあいの利用拡大
- 暮らしの便利帳の充実
- 食品ロス削減対策

# 税金徴収

## 所有者不明の対策

### 市長／相続財産換価



市長 峯下 洋



所有者不明の物件に関する税金徴収の対策を問う。

市長 相続登記未了で、滞納が生じた場合には、相続人調査を行い、納税義務者を、職権で死亡者から相続人に替え、納税通知書を各相続人に送付している。

なお、相続人全員の相続放棄等で相続人がいない状態である、不存在となっている場合は、民法の定めるところにより相続財産管理人選任申立を行い、相続財産換価により市税に充てるように処理している。

### 新たな支援策 市長／職員配置し連携推進

峯下 校区コミュニティ設置後の今後の新たな支援策と本市の取組について問う。

市長 「市校区担当職員制度実施要綱」を定め、各校区コミュニティ協議会に2人の校区担当職員を配置し、今後とも校区コミュニティ協議会との連携を図り、かつ、地域と行政が一体となった共生・協働のまちづくりを推進してまいりたい。



▲「煮しめ」の話に聞き入る参加者たち

## 風疹対策

### 30～50歳代への予防

#### 市長／予防接種費の助成を検討



市長 新福 愛子  
公明党始良市議団



新福 妊娠初期の女性が罹患すると、胎児に先天性風疹症候群という疾患等や重い障がいが出る恐れがある風疹が流行している。

患者の多くは予防接種の機会がなかった30～50歳代の男性である。

市長 本市の予防対策を問う。本市は、妊娠を希望する女性を対象に無償で



▲予防接種空白世代の対策急務

抗体検査を実施している。本市でも、妊娠を希望する女性やその配偶者等への予防接種費の助成を検討している。

### 永山線改修

市長／一部の修繕工事を発注

新福 加治木町小山田地区の市道永山線は、改修等を望む地域の声が長年続いている。

市長 本市の今後の取組みを問う。

市長 竜門校区コミュニティ協議会からの要望で

一部の舗装修繕工事を発注した。

路肩および落石等の不安定な箇所については今後、工法等を検討していきたい。

こうした要望について、スピード感や住民とのコミュニケーションを強化していきたい。

### その他の質問

○安全性に問題のあるブ  
ロック塀対策



## 学校給食

# センター方式の議論

教育長／実施計画で調整



湯元 秀誠  
市政クラブ始輝



**湯元** 蒲生学校給食センターは、0157発生を機に建替えがなされた。しかし、未だに自校方式の所もある。

その理由を示せ。

**教育長** 新たな給食室別棟の建設に時間や財政的負担が大きく、センター方式への移行は先送りしてきた。

**湯元** センター方式への



▲蒲生給食センターから温かい給食がいつも届く漆小学校

議論をすべきである。

**教育長** 「学校給食衛生管理基準」の不適合が加治木給食センターと自校方式8か所である。

およそ6500食の施設整備費は概算29億円、2か所に分散した場合35億円と試算している。総合計画の実施計画で調整を進めていく。

### 「地域商社」事業の取組み

市長／支援メニューの活用を検討

**湯元** 地域のブランド産品を全国に展開、従来以上の利益を引き出し農林水産業の振興を図る「地域商社」事業の取り組みは考えないか。

**市長** 先進事例を参考に地方創生推進交付金等の支援メニューを活用した地域商社事業への取組みを検討する。

## 観光立市

# 観光の位置づけ

市長／総合的戦略産業



吉村 賢一



**吉村** 本市の観光はどうあるべきか。観光協会はどうのように位置づけられるのか。

**市長** 関連産業の裾野が広いことから総合的戦略産業として観光振興を目指す。

市には行事、文化財、史跡等が沢山ある。一つ一つの宝をどうやって観光地とするか、市や関係団体が一堂に会し、点や線を面としてどう売り込み活用するか、同時にどこに事務所（観光協会）を置くか効果的か考えていきたい。

**吉村** ホテル誘致に再チャレンジできないか。

**市長** ホテル誘致については事業者側の要望を加味しているんな場所を紹介していきたい。

**加治木駅前銅像を**  
市長／建立に至るまで研究する

**吉村** 加治木駅前に偉人の銅像を考えられないか。

**市長** 今後、駅前整備の進捗や先進地例を参考に、候補選定から建立に至るまでの研究をしていく。



▲日本一大桶どんと秋まつり

## エアコン設置

# 年度内に整備できるか

教育長／平成31年8月頃までの設置



堀 広子



**堀** 公立小中学校の空調設備は、平成31年度内（執行条件）の交付金事業で整備ができるか。  
**教育長** 従来の国庫補助制度より条件が良かったため、平成31年8月頃までに幼稚園、小中学校に設置できるよう準備を進めている。

### 会計年度任用職員に期末手当 市長／財政面を検討

**堀** 会計年度任用職員に期末手当と職務給や経験加算が必要ではないか。  
**市長** 期末手当は、財政面を含め検討する必要がある。

今後、国や県、県内の動向も精査する。  
**堀** 任用実態把握を行う



▲空調機のおかげで快適な環境に

中で、正規職員と変わらない業務を担っている場合は、正規職員として任用すべきではないか。  
**市長** 常勤職員の職務に人員不足が生じた場合、職員採用試験を実施することになる。

### その他の質問

○国保行政

現在、大学と連携し、学生の研修・研究の場と

## 地域医療

# コミュニティナース導入

市長／調査・研究を検討



小山田邦弘  
市政クラブ始輝



**小山田** 地域医療における北山診療所の役割をどのように考えるか。  
**市長** 市としては地域医療を守る観点に立ち、医療と介護の連携におけるモデルケースとしても位置付けながら、地域包括ケアシステムの構築のための更なる展開の場として捉えている。

しての活用や交流などによる中山間地域の活性化も模索している。  
**小山田** 潜在看護師を地域に配置するコミュニティナースの導入を検討できないか。

**市長** 地域包括ケアのひとつとして調査し検討する。



▲地域包括ケアシステムの核になれるのか

## フットボールセンター

### 具体的な活用

市長／鹿児島ユナイテッドFC利用



犬伏 浩幸  
市政クラブ始輝



**犬伏** 様々なスポーツやイベント等に活用されると認識するが具体的に示せ。

**市長** 県サッカー協会等の主催による試合や、鹿児島ユナイテッドFCの利用、スポーツキャンプでの利用を見込んでいます。また、サッカー以外では、障がい者スポーツやニュースポーツでの利用等を想定している。

**犬伏** ラグビーは利用可能か。

**市長** 利用出来る方針で問題ないと考える。

**犬伏** 地域経済活性化への効果を問う。

**市長** 大会の開催やプロサッカーチームの利用、スポーツキャンプの誘致

**犬伏** ネーミングライツ導入について見解を示せ。

**市長** 公共施設の魅力を発信しながら、ネーミングライツの導入に取り組んでいく。

を考えている。

このことが、交流人口増加につながり、活性化への効果が期待されるので、PR活動や各種大会、スポーツキャンプの誘致に努める。

### 防犯カメラ設置

市長／検討研究

**犬伏** 通学路に防犯カメラの設置を。

**市長** 今後、通学路も含めて検討・研究していく。



▲平成31年2月工事完了予定の人工芝グラウンド

## 条例復活

### 宿泊施設の誘致

市長／新たな条例を検討



谷口 義文



**谷口** 始良市旅館・ホテル施設誘致促進条例の果たす役割をしっかりと認識し、始良市発展のためにこの条例を復活すべきである。

**市長** 本市への交流人口が年々増加していることから、宿泊施設の確保については、その必要性を認識している。

平成29年3月31日をも



▲一人ひとりによりそった支援を行います

って廃止されたが、市の現状を踏まえながら、新たな条例の制定について検討する。

方が不安に感じる介護として認知症状への対応を挙げられた。

対応策として「認知症地域支援・ケア向上事業」や「家族介護支援事業」に取組み、また、地域における住民主体の運営による「通いの場」づくりの事業等に取り組んでいる。

### 介護の実態と対策

市長／「通いの場」づくり事業

**谷口** 身寄りのない高齢者独居世帯、老老夫婦世帯の生活実態と在宅介護の実態の把握および取り組むべき対策をどう考えるか。

**市長** 在宅介護実態調査を実施した結果、3割の

### その他の質問

○市政取組

平成29年度 決算をチェック☑

# 税金の使い方を確認しました

一般会計歳出額

290億8746万円

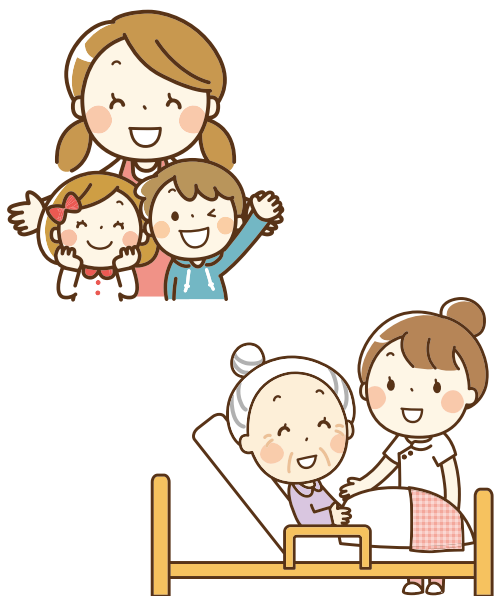
特別会計歳出額

186億1832万円

皆さんの納めた税金がどのように使われたのか、決算審査特別委員会を設置し、税金の使い方を確認しました。

質疑・現地調査・議員間討議等を行い詳細な審査の結果、全ての決算を認定しました。

本頁・次頁で、チェックした内容や主な議員間討議をお知らせします。



▲人材確保への支援拡充を

## Check

いかせ！提言

28年度決算審査で指摘された課題が、29年度事業でどのようにいかされたのかチェック☑

**提言**  
保育士・介護士不足の解消のために、あらゆる手立てを。

**解決策**

**保育士**

潜在する保育士の資格を十分に活かせるような求人形の構築するともに、待遇改善や環境改善に努めていく。

**介護士**

仕事内容を知る機会を設けることや学習支援、人材確保等に関する情報提供に努める。  
また、介護報酬見直し等について国への働きかけを継続していく。

**提言**

万一の事故や災害に備えて、ミニ学校給食センター設置の方針について検討すべき。

**解決策**

蒲生学校給食センターと給食室別棟の調理場以外は、学校給食衛生管理基準に不適合であり、老朽化による施設の維持管理が課題となっている。

今後は、自校方式の8施設と加治木学校給食センターの整備方針を実施計画に掲載するとともに、災害等が発生した場合のリスク管理についても検討する。



▲いつもおいしい給食をありがとう

## Check

### 自主防災組織の拡充は図られたか。

#### 【主な議員問討議】

- 組織率が85・1%であることが確認できた。
- 地域特性に合った組織作りをし、役割を明確化する必要がある。
- 男女共同参画の視点での避難所整備がなされていない。

#### 【指摘事項】

防災の取組みは危機管理課だけで担当するのではなく、建設部・福祉部なども含めた横断的な連携・取組みを進めるべき。



▲日頃からの備えが大切です

## Check

複合的な問題を抱える市民への対応は、更にきめ細やかな対応を進めるべきである。

#### 【主な議員問討議】

- 子育てコンシェルジュは、想像以上に重たい相談が多く解決に「つなぐ」仕事が増えている。
- 課や係、団体を越えた連携が必要である。
- NPOとコミ協の連携による子ども食堂や学習支援などは地域連携策として評価する。

#### 【評価する点】

福祉事業は、相談事業のようにきめ細やかな対応を心掛けた取組みも多く、今後さらなる推進を望む。



▲子育て大応援団！子育てコンシェルジュ（イオンタウン）

## Check

### 有害鳥獣被害対策は成果をあげているか。

#### 【主な議員問討議】

- イノシシ、シカは捕獲頭数が増えたが、サルは捕獲頭数は減少している。
- 近隣地区、市町との連携は図れないのか。
- 捕獲の前に、「草払い」「棲み分け」「危険を認識させる」を行う。

#### 【指摘事項】

イノシシ・シカはある程度対策できるが、特にサル被害が深刻である。先進事例等を参考に更なる対策の充実を図ること。



▲適正な電気柵設置が効果をもたらします

# 語る会

## 政に反映



▲中央A地区いきいき交流センター（参加者18名）

始良市議会では、開かれた議会を目指して、市政に関する情報を市議会の立場で、また独自の視点から市民の皆様にお知らせし、市民と議会が自由に意見交換する場として「議会と語る会」を開催しています。

第11回目「議会と語る会」は、11月8日(休)に蒲生地区の蒲生中央A地区いきいき交流センター、11月10日(土)は、午前が始良地区の青葉台公民館、午後が加治木地区の性応寺で実施し、多くの市民の皆様の参加がありました。

はじめに、各委員会から9月議会補正予算の報告後、市政全般についてそれぞれの地区の課題や要望を中心に意見交換をしました。

### 蒲生地区 中央A地区 いきいき交流 センター

#### 市に対する主な要望

○住吉池があまり活用されていないので、積極的に活用してほしい。

○太陽光発電所が至る所にでき、山が荒らされている。市として指導等してほしい。

○中山間地域の活性化のために、市営住宅の建設や様々な支援策など検討・実施してほしい。

○防犯灯は自治会の負担で行われているが、自治会の加入者が減ってきている。今後は自治会以外の負担方法を検討してほしい。



### 始良地区 青葉台公民館

#### 市に対する主な要望

○上野城前の道路について、話し合いをして地域にとって良い方向へ進めしてほしい。

○歩道が機能していないところが多いので、改善してほしい。

○ゴミ袋への記名について、旧始良町地区とその他の地域との意識の差が大きい。記名する必要性があるならば、市として徹底してやるように働きかけをしてほしい。

○国道の街路樹等が管理されていないように感じるので、市として景観に注意してほしい。



▲青葉台公民館（参加者29名）



# 第11回 議会と語る会

あなたの声を

▲性応寺 (参加者41名)



## 加治木地区 性応寺

### 市に対する主な要望

○場外舟券売り場建設計画があるが、この地域には不必要なものなので、建設に反対してほしい。(建設に賛成する意見もありました。)

○森山家住宅の南東角を隅切りしてほしい。

○島津義弘公没後400年の節目の年を始良市全体で盛り上げてほしい。

○朝日町通線の計画を見直してほしい。

## 参加者アンケート

たくさんの方に記載していただきましたが、一部のものを紹介いたします。

○この会には前々から関心がありましたが、なかなか出席できる機会がなく、初めて参加しました。皆様、活発な意見が出て大変参考になり、次の機会に何か問題を見つけて参加したいと思えます。

○時間の余裕が問題。もっと夜の日程で組んでほしい。

○夜の会はやめてほしい。土曜の昼を希望します。

○滅多にない機会なので

質疑応答の時間を長く取ってもらう方がよかったです。

○皆さん活発な意見を出されて有意義な会だったと思います。要望のあったことは、ぜひ実行して頂きたいとお願ひいたします。

紙面に掲載した要望や提言、アンケートなどは一部を抜粋したものです。

皆様の声を執行部にしっかりとつなぎ、予算審査や市政運営に反映していきます。次回の案内は次号に掲載予定です。



# 第10回 クイズ



〇〇おどり?

## ヒント

蒲生町米丸地区に伝わる豪快に飛び跳ねてユーモラスな踊り。

**クイズに答えて図書カードをゲット!!**

## 応募方法

○官製ハガキかメールにて、答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局にお送りください。

「あいら市議会だより」へのご意見、ご要望も大歓迎。

○締切り 2月末日 当日消印有効  
正解者の中から、5人の方に図書カードを進呈。

## あて先

〒899-5492 始良市宮島町25番地  
「始良市議会事務局」  
メールアドレス gchosa@city.aira.lg.jp

※ご応募いただいた方の個人情報は、ご意見への回答、抽選、図書カードの発送以外の目的には使用しません。

# 傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

平成31年第1回定例会は、  
2月18日～3月22日、開催予定

委員長  
副委員長  
委員

峯下 洋  
和田 里志  
新福 愛子  
竹下 日出志  
湯之原 一郎  
岩下 陽太郎  
松元 卓也  
湯元 誠  
小田 邦弘  
萩原 哲郎  
有川 洋美  
犬伏 浩幸

議長  
編集・発行責任者  
廣報広聴特別委員会  
(広報班)

森川 和美

松元 卓也

# 広報広聴特別委員会

10月29・30日に、広報紙のリニューアルに取組み市民から高評価を得ている東京都の羽村市「ぎかいのトビラ」あきる野市「ギカイの時間」を研修に行きました。

**羽村市**：平成16年から「開かれた議会」を目指し、短期・中期・長期に解決すべき課題を分類し、議会改革を進めている。広報分野において改善強化されている。

以下の点を参考にしたい。

- ① 常任委員会ごとに各種団体と市民インタビューを企画し、記事を作成している。
- ② 議会PR動画を毎回作成し傍聴を呼びかけている。
- ③ 次回の定例議会の予定を「しぎかいカレンダー」として裏表紙に掲載している。



**あきる野市**：議会改革の一環として、「議会だより」についての市民アンケート調査を実施。その結果をもとに平成24年、議会だよりのリニューアルを決定した。

- ① 改選後の新人議員の意見を中心に、「市民に読んでもらえる」議会だよりを目指し、調査研究グループを結成した。「読みたい」が0%に近いアンケート結果から、85%の方々に「読みたい」と思わせるレベルまで向上している。
- ② 余白を活用し、統一感を持ち、分かりやすい文章に置き換え写真付きで説明しているなど市民目線の「議会だより」になっている。



大いに参考にして本市に取り入れたい。

## 編集後記

早いもので私も議員になり9か月が経ち、一児の父となりました。広報委員会では「議会を議論しているのか」「議員は何をしているのか」を工夫しながら「伝わる」努力を重ねています。

一人でも多くの方々に手にとっていただくきっかけになればと、31号からの表紙はドローン撮影を活用しました。

今後ともメンバーが一丸となって全力で「伝える力」を磨いていきます。これからも進化する「議会だより」にご期待ください。